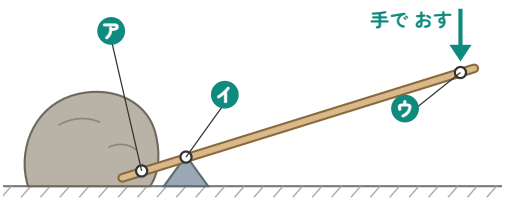
てこの はたらき ① きほん

テスト 100点満点。ことばと きまりを たしかめよう。
②（活用）と セットで 取り組むと、単元全体を ふり返れます。

ごうけい ／100 点

1 棒で 重い 石を 持ち上げます。 1つ5点 きほん



(1) ア〜ウの 点の 名前は？

ア ［　　］
イ ［　　］
ウ ［　　］

(2) 小さな 力で 持ち上げるには？
正しい ほうに ○を つけましょう。

① 手で おす 位置を 台から
（ 遠ざける ・ 近づける ）

② 台の 位置を 石に
（ 近づける ・ 遠ざける ）

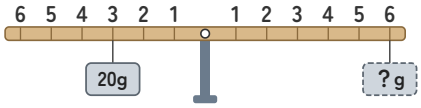
2 てこの きまり：〔　〕に あう ことばを、下の □から えらんで 書きましょう。 1つ5点 きほん

・てこを かたむける はたらきは、おもりの〔ア　　〕×支点からの〔イ　　〕で 表せる。
・左右の てこを かたむける はたらきが〔ウ　　〕とき、てこは 水平に つり合う。
・上皿てんびんが つり合った とき、左右の 皿の ものの〔エ　　〕は 等しい。
・てこを 利用した 道具には、支点・力点・作用点の〔オ　　〕が ちがう ものが ある。

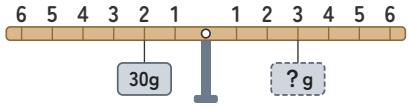
重さ ・ きょり ・ 等しい ・ ちがう ・ 高さ ・ ならび方

※ 同じ ことばを 2回 使っても よい。

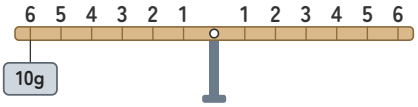
3 実験用てこが 水平に つり合うように、□に あてはまる 数を 書きましょう。 1つ5点 きほん

(1) 

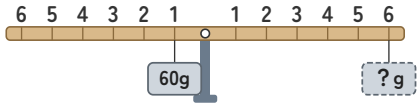
右の 6に ［　　］ g

(2) 

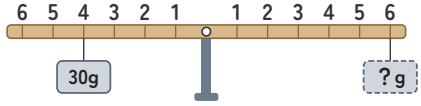
右の 3に ［　　］ g

(3) 

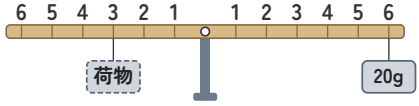
20gを 右の ［　　］ に

(4) 

右の 6に ［　　］ g

(5) 

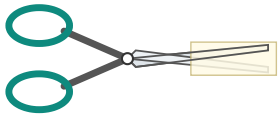
右の 6に ［　　］ g

(6) 

荷物は ［　　］ g

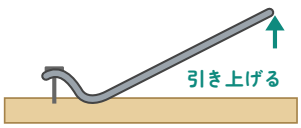
4 3つの 点の うち、まん中に ある 点は どれですか。（支点・力点・作用点） 1つ5点 きほん

(1) はさみ



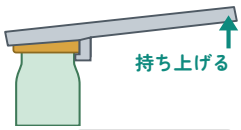
まん中 ［　　］

(2) くぎぬき



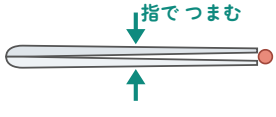
まん中 ［　　］

(3) せんぬき



まん中 ［　　］

(4) ピンセット



まん中 ［　　］

おわったら ○を つけよう ◯ できた！ ◯ もういちど！

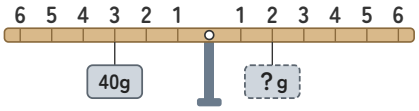
てこの はたらき ② 活用

ステップ 3／6 テスト

テスト 100点満点。きまりを 使って 考えよう。
計算の 答えだけで なく、わけを 書く 問題も あります。

ごうけい ／100 点

1 左の 3に 40gを つるし、右の どこに 何gで つり合うかを 調べました。 20点 きほん



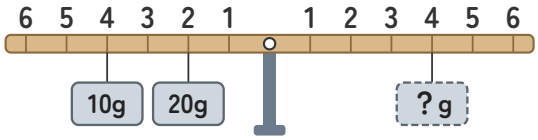
右の 目もり	1	2	3	4	6
つり合う 重さ (g)	120		40		

(1) 表の □に あてはまる 数を 書きましょう。

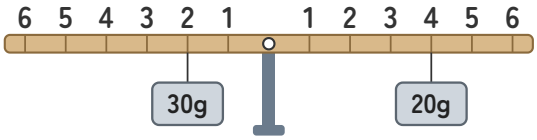
(2) 目もりの 数が 2倍、3倍に なると、つり合う 重さは （ 2倍、3倍 ・ 2分の1、3分の1 ・ 変わらない ）に なる。

2 A・Bの てこを、手で ささえて 水平に して います。 45点 ★チャレンジ

A



B



(1) 右の 4に 何gを つるすと つり合う？ g

(2) 右の 2に つるすなら 何g？ g

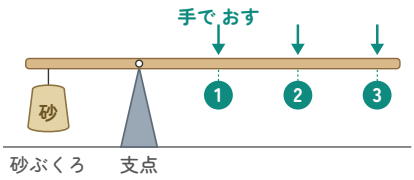
(3) 手を はなすと どう なる？
（ 左が 下がる ・ つり合う ・ 右が 下がる ）

(4) 20gを どこに 動かすと つり合う？

(5) (4)の 答えに なる わけを、「重さ」「きょり」を 使って 書きましょう。

3 「力点の 位置を 変えると、手ごたえは どう 変わるか」を 調べます。 1つ5点 きほん

ア 支点から 力点までの きょり　イ 支点から 作用点までの きょり　ウ 砂ぶくろの 重さ

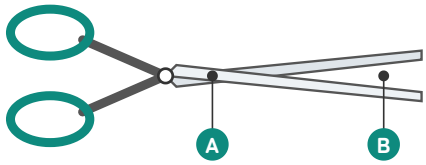


(1) 変える 条件は どれですか。

(2) 変えない 条件を すべて 書きましょう。

(3) ①→②→③と おすと、手ごたえは （ 大きく ・ 小さく ）なった。

4 はさみで あつい 紙を 切ります。 20点 ★チャレンジ



(1) 小さな 力で 切れるのは、A・Bの どちらで 切るとき？

(2) その わけを「支点」「作用点」を 使って 書きましょう。

おわったら ○を つけよう ◯ できた！ ◯ もういちど！